

三神村

九	一〇	一一
加藤延成	岡崎長一郎	青木運六郎
昭昭昭大大大	昭昭昭大大大	昭昭昭大大大
六二二七七三	六二二七七三	六二二七七三
〇〇九九六六	〇〇九九六六	〇〇九九六六
一二	一三	一四
蛭田三之丞	小針弥太郎	岡崎長一郎
昭昭昭昭昭	昭昭昭昭昭	昭昭昭昭昭
三三三三三	三三三三三	三三三三三
八六三二一一	八六三二一一	八六三二一一

一	二	三	四	五
矢部相藏	佐久間国亮	酒井寅三郎	加藤為三郎	遠藤勇三
明三	明三	明三	明三	明三
三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三
三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三
六六六六六	六六六六六	六六六六六	六六六六六	六六六六六
一〇	九	八	七	六
太田貞造	渡辺金藏	円谷善助	酒井寅三郎	藤井英由
大大大大大	大大大大大	大大大大大	大大大大大	昭昭昭
三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三
三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三
三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三

矢吹村(町)

一	二	三	四
緑川(重三治郎)	山本重承	大谷知房	武藤一策
明三	明三	明三	明三
三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三
三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三
六六六六六	六六六六六	六六六六六	六六六六六
五	六	七	八
丸野実行	武藤一策	仲西三良	大木代吉
大大大大大	昭昭昭昭昭	昭昭昭昭昭	昭昭昭昭昭
三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三
三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三
三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三

〔町史編纂室調〕

4 財 政

一七七〔明治一五年西白河郡町村連合会費用賦課徴収案〕

乙第五号

福島県西白河郡各町村連合会費賦課徴収按

第一条 本会ニ要スル費用ハ連合町村ノ負担トス

第二条 其費用ハ予算ノ通金額ヲ地価四分戸数六分賦課スル

モノトス

第三条 戸数地価ハ現在ノ査定スル処ニ基キ賦課スヘシ故ニ

異動アルモ夫レカ為毎町村ノ課額ヲ増減セサルモノ

トス

但戸数ハ本籍寄留トシ一時別居ノ如キハ之ヲ免除ス

第四条 第六条ノ予算金ハ戸長委員ニ於テ各町村ニ賦課シ各

町村戸長ニ於テ之ヲ部内ヘ賦課シ徴収ノ上戸長委員

ヘ送付スヘシ

第五条 戸数委員ニ対スル旅費日当及別途手当金ヲ合シ議員

旅費滞在日当ノ額ニヨリ日数ヲ算シ支出スヘシ

第六条 本会ニ要スル予算費目左ノ如シ

金二百四十四円八十銭

内

金百五十二円 議長以下旅費日当

是ハ議長以下出張議員二十一名分滞在間旅行二日分

マテ如斯

金十六円 諸雇費

是ハ開会ヨリ書記日数十日分小使一名ハ数日ニテ

如斯

金二十円

是ハ原按及決議書上申書并賦課方張ボノ報告書見積

如斯

金十五円 会場諸費

金三十一円八十銭 戸長委員旅費日当

是ハ委員一名ニ付金八十銭ツ、三人分日数十二日旅

費一日分見積如斯

金十円 予備金

是ハ連合会費実費決算ノ上若連合会ニ付テ要スヘキ

費ニ支用スルモノトシ 郡役所ヘ預ケ置

第七条

本会予算金前年越高ヲ引去リ残不足ノ分賦課徴収マ

テ制限ノ利子ヲ付シ公備スルモノトス

但シ本会予算金出納決算ノ上翌年連合ヘ報告スルモ

第八条

前条ノ予算金各種類ヲ通シ流用スルヲ得

本年八月連合会開会之節議決候該費用賦

課金別紙之通有之候条本月十日限西白河郡役所第三科出納掛ヘ

御上納有之度此段及御通知候也

連合会委員戸長惣代

釜子村戸長 熊 谷 源 三[㊤]

明治十五年九月六日

中畑村外一ヶ村戸長

岡 崎 長次郎殿

追而本文会議決議写別紙之通ニ有之候条 此段被申添候也

中畑村

一地価 金六万七千六百九十銭八厘

一戸数 二百三十戸

一金八円二十三銭五厘 西白河郡連合会費

内

金三円六十三銭五厘

金四円六十銭

一金二円六十一銭五厘

内

金一円十五銭四厘

金一円四十六銭一厘

但地価百円ニ付金五厘三毛七糸六六

但戸数一戸ニ付金二銭

同連合会諸器械費

但地価百円ニ付金一厘七毛〇七七

但戸数一戸ニ付金六厘三毛五三

金三円四錢二厘

衛生通信委員費

合金一円五十八錢九厘

内

〔中畑 岡崎長成家文書「西白河郡町村連合記録」抜粋〕

金一円二錢五厘

但地価百円ニ付金一厘五毛一五六

金二円一錢七厘

但戸数一戸ニ付金八厘七毛七糸

合金十三円八十九錢二厘

一七八〔明治一七年度地方税追徴及一八年度地方税中畑村賦課
法議案〕

明治十七年度地方税追徴及十八年度地方税

大畑村

第一期西白河郡中畑村賦算法議案

一地価 金六千九百二十円八十五錢三厘

一金二円八十九錢八厘

十七年度地方税
追徴戸数割

一戸数 二十一戸

一金百二十七円五十一錢二厘

十五年地方税
第一期戸数割

一金七十九錢二厘 西白河郡連合会費

合金百三十円四十一錢

内

此戸数二百戸 但一戸ニ付金六十三錢但村会ニ於テ各戸貧富
ノ等差ヲ設ケ賦課方法ヲ議定スル事

金三十七錢二厘

但地価百円ニ付金五厘三毛七糸七六

金四十二錢

但戸数一戸ニ付金二錢

〔中畑 岡崎長成家文書「戸長取扱書類綴」抜粋〕

金五十錢八厘

同連合会諸器械費

内

一七九〔明治二四年度矢吹村歳入出予算決議書〕

金十一錢八厘

但地価百円ニ付金一厘七毛〇七七

金三十九錢

但戸数一戸ニ付金六厘三毛五三

一金二十八錢九厘

衛生通信委員費

明治二十四年度歳入出予算決議書

内 訳

内

金四百二十八円四十錢

雑 給

金十錢五厘

但地価百円ニ付金一厘五毛一五六

金百二円八十九錢

庁 費

金十八錢四厘

但戸数一戸ニ付金八厘七毛七糸

金二円

建築修繕費

一金三十一円六十銭 会議費

内 訳

金二十九円六十銭 雑 給

金二円 雑 費

一金四百二十六円六十銭 教育費

内 訳

金三百五十七円六十一銭 雑 給

金四十五円九銭 庁 費

金二十三円九十銭 建築修繕費

一金十円五十銭 衛生費

内 訳

金三円 伝染病予防費

金七円五十銭 種 痘 費

一金百十七円四十三銭一厘 校舎敷地買入費

一金十円 予備費

合金千百二十九円四十二銭一厘

内

金百十七円四十八銭 授業料予算額

金九円 国税交付金

金五十一円四十一銭三厘 地方税交付金

金三十五銭七厘

二十二年年度ヨリ繰越金

小計百七十八円二十五銭

差引

金九百五十一円十七銭一厘

内

金百二十七円九十八銭

金七十四円九十二銭五厘

金七百四十八円二十六銭六厘

合金九百五十一円十七銭一厘

地価金百円ニ付三〇〇本年度
地租予算高金一、六六五〇四
地税金一円ニ付金十二銭
地方税中營業税金一円ニ付金
十五銭
二十四年二月一日現在戸数三
百一十一戸ニ付金二円四十
銭六厘

右金ヲ折半シ前半期ハ四月二十日限り徴収シ后半期ハ九月三十日
限り賦課徴収スルモノトス

右決定候也

明治二十四年三月

矢吹村會議員

石 井 皆 兄 郎 芳 賀 勇 藏 郎

小 針 清 次 郎 大 木 代 吉 郎

大 野 喜 次 郎 横 川 栄 二 郎

小 針 鎮 平 郎 星 晋 之 助 郎

佐久間 磯 吉 郎

矢吹村会議長 長 尾 半次郎 函

(名前は上から下へつづく)

〔町有 明治24・3「矢吹村会議録」抜粋〕

解説

明治二一年四月に制定された市町村制によれば、町村長は年度前に歳入出予算表を調製し町村会の議決をえなければならぬと規定されている。これにより決議された矢吹村予算決議書である。現存する最も古いもので当時の財政規模がうかがえる。

一八〇「明治三〇年度矢吹村歳入出決算報告説明」

矢吹村税明治三十年度

歳入出決算報告説明

本年度歳入決算ノ総額ハ金二千五百十円十七銭ニシテ之レヲ以テ其予算ニ比スレバ金三十一円七十七銭二厘ヲ減少セリ依テ各科目ニ就キ其増減ノ理由ヲ説明スル事左ノ如シ

一 授業料

此決算ノ金額ヲ以テ其予算ニ比スレバ金十二円四十六銭ヲ減少セリ其然ル所以ノ者ハ退校生及滞納処分ノ結果欠損等アルニ由ル

一 前年度繰越金

此決算ノ金額ヲ以テ其ノ予算ニ比スレバ金三十八円四十五銭九厘ヲ増加セリ其然ル所以ノ者前年度決算ノ結果ニ由ル

一 国税交付金

此決算ノ金額ヲ以テ其ノ予算ニ比スレバ金十三円五銭八厘ヲ増加セリ其然ル所以ノモノハ国税營業者ノ多キニ由ル

一 地方税交付金

此決算金額ヲ以テ其ノ予算ニ比スレバ金六円三十銭五厘ヲ増加セリ其然ル所以ノモノハ追加地方税ノアルニ由ル

一 地価割

此決算ノ金額ヲ以テ予算ニ比スレバ金八銭七厘ヲ減少セリ其然ル所以ノモノハ算則上四捨五入等アルニ由ル

一 營業割

此決算ノ金額ヲ以テ其予算ニ比スレバ金十九円二十二銭三厘ヲ減少セリ其然ル所以ノモノハ營業税ノ減少及滞納処分ノ結果欠損等アルニ由ル

一 戸別割

此決算ノ金額ヲ以テ其予算ニ比スレバ金五十七円八十四銭四厘ヲ減少セリ其然ル所以ノ者ハ戸数ノ減少及滞納処分ノ結果欠損等アルニ由ル

以上通計スルニ金三十一円七十七銭二厘ヲ減少セリ而シテ本年度決算収入ノ実額金二千五百十円十七銭ニ対シ支出ノ実額ハ二千三百五十九円六十八銭九厘ヲ減セリ其然ル所以ノモノハ各項ニ就キ説明ノ如シ

歳 出

本年度歳出決算ノ総額ハ金二千三百五十円四十八銭一厘ニシテ之レヲ以テ其予算ニ比スレバ金百九十一円四十六銭一厘ヲ減少セリ依而各科目ニ就キ其増減ノ理由ヲ説明スル事左之如シ

一 役場費

此決算ノ金額ヲ以テ其予算ニ比スレバ金七十三銭七厘ヲ増加セリ其然ル所以ノ者ハ給料ニ於テ金一円八十三銭雜給ニ於テ金六十八銭常時修繕費ニ於テ金二円ヲ減セシニモ抱ハラズ需用費ニ於テ金五円二十四銭七厘ヲ増加セシニ由ル

一 会議費

此決算ノ金額ヲ以テ其予算ニ比スレバ金五円六十一銭ヲ減少セリ其然ル所以ノ者ハ実費弁償ニ於テ金三円雜給ニ於テ金一円六十一銭減シタル節略ヲ加ヘント書記給料一円ヲ要セザルニ因ル

一 教育費

此決算ノ金額ヲ以テ其予算ニ比スレバ金八十三円七十銭九厘ヲ減少セリ其然ル所以ノ者ハ給料ニ於テ金八十五円六十九銭八厘雜給ニ於テ金十四銭九厘需用費ニ於テ金一円六十二銭八厘実費弁償ニ於テ金一円ヲ減セリ常時修繕費ニ於テ金四円七十六銭六厘ヲ増加セシ壁ノ修繕ヲ加ヘシニ由ル

一 衛生費

此決算ノ金額ヲ以テ其予算ニ比スレバ金四十五円ヲ減少セリ其然ル所ノ者ハ種痘費ニ於テ金二十三円ヲ減セシハ種痘児ノ少ナシト伝染病予防費金二十円衛生会補助費ハ金二円ヲ要セザルトニ由ル

一 警備費

此決算ノ金額ヲ以テ其予算ニ比スレバ金二十七円二十三銭ヲ減少セリ其然ル所以ノ者ハ需要費ニ於テ金十六円七十九銭常時修繕費ニ於テ金一十八銭ヲ減セシト雜給ニ於テ金八円六十四銭ヲ要セザルトニ由ル

一 勸業費

本項ハ予算ニ対シ増減ナキヲ以テ説明セズ

一 諸税及負担額

此決算ノ金額ヲ以テ其予算ニ比スレバ金六十三銭九厘ヲ減少セリ其然ル所以ノモノハ本村諸税ノ仕払ヲ要セザルニ依ル

一 予備費

本項ハ予算不足ノ費用目ヲ補充セリ

一 学校建築積立金

本項ハ予算ニ対シ増減ナキヲ以テ説明セズ
矢吹村立尋常小学校舎新築工事着手之件
小学校舎新築起工ハ明治三十二年二月トス

寄附金願

右ハ当矢吹村矢吹尋常小学校基本財産トシテ寄附仕度御採用相成
度此段奉願上候也

一金十五円也

西白河郡矢吹村大字矢吹

平民商 仲 西 力 藏

明治三十一年九月二十日

西白河郡矢吹村長

大 谷 知 房殿

〔町有 明31・9「矢吹村会議録」抜粋〕

一八一〔明治三十六年度矢吹町前期県税戸数割貧富等差〕

第一号

明治三十六年度前期県税戸数割貧富等差

階級	戸数	個一戸当	合個数	課税	町税	合課金	町税
特別一	一	二・三	一・三	六・九	六・九	六・九	六・九
一	一	一〇・五	一〇・五	六・〇	三・九	六・〇	三・九
二	一	九・三	九・三	五・三	二・〇	五・三	二・〇
三	一	六・六	六・六	三・七	一・四	三・七	一・四
四	一	四・七	四・一	二・六	一・〇	二・六	一・〇
五	一	三・八	三・八	二・一	八・三	二・一	八・三
六	一	二・九	一・六	一・六	六・四	一・六	六・四
七	一	二・五	七・五	一・四	五・四	一・四	五・四

合計	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五
三・五	二・〇	一・七	一・五	一・三	一・一	一・〇	九	七	四	二	一	九	三	二	一	〇	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七	六	五
一、一五〇	四、三八〇	五、七五〇	七、七〇〇	九、七〇〇	一二、八〇〇	一六、〇〇〇	一九、二〇〇	二二、四〇〇	二五、六〇〇	二八、八〇〇	三二、〇〇〇	三五、二〇〇	三八、四〇〇	四一、六〇〇	四四、八〇〇	四八、〇〇〇	五一、二〇〇	五四、四〇〇	五七、六〇〇	六〇、八〇〇	六四、〇〇〇	六七、二〇〇	七〇、四〇〇	七三、六〇〇	七六、八〇〇	八〇、〇〇〇	八三、二〇〇	八六、四〇〇

〔町有 明36・4・16「矢吹町議会議録」抜粋〕

〔解説〕 課税率は毎年度予算を決定する時に定め、各戸ごとに貧富等差をつく議案に提出した、本資料はそのまとめである。

一八二〔明治三十六年度矢吹町歳入出総計予算〕

第二号

西白河郡矢吹町明治三十六年度 歳入出総計予算

歳 入

一金三千八百三十九円九十六銭四厘 歳入予算高

歳 出

一金三千八百三十九円九十六銭四厘 經常費予算高

西白河郡矢吹町明治三十六年度 歳入 歳入出予算表

科 目	前年度 予算額	本年度 予算額	附 記
第一款 資産ヨリ生スル収入	三、三〇〇	四、四四九	
貸 金 利 子	三、三〇〇	四、四四九	本年学校基本財産金四十四円四十九銭ニ対スル年一割ノ利子
第二款 使用料及手数料	三、五〇〇	三、〇〇〇	
戸 数 手 数 料	一、〇〇〇	一五、〇〇〇	戸籍謄本抄本閲覧手数料
滞 納 督 促 手 数 料	一、五〇〇	一三、〇〇〇	督促状二百六十通一通ニ付金五銭
第三款 雑 収 入	五三、〇〇〇	四六、五〇〇	
不 用 品 払 代 入	三、〇〇〇	三、〇〇〇	新聞紙其他売却代
小 学 校 授 業 料	五三、〇〇〇	四三、五〇〇	尋常科生徒授業料金六銭百二十六名 金三銭五十名高等科生徒金三十銭三十名 金二十二銭九十名金十一銭十名 一ヶ月三十八円九十六銭ニシテ十二ヶ月分金 四百六十七円五十二銭裁縫専修料 金二十銭十名 三ヶ月分金六円
第四款 前年度繰越金	六四七、八四七	二四九、八〇〇	三十五年度ヨリ繰越金
第五款 国税交付金	三、五五七	三、八六九	徴収額金九百九十六円六十九銭ニ対スル百分ノ四
第六款 県税交付金	四、三九	四、八三	徴収額金千七百七十円七銭ニ対スル百分ノ四
第七款 県税補助費	三六、三〇	三六、三〇	衛生費金百八十一円七十九銭八厘ニ対スル五分ノ一
第八款 寄 付 金	七四、四〇	三〇〇、〇〇〇	
第九款 教育費 寄 附 金	七四、四〇	三〇〇、〇〇〇	学校諸器械購入費寄附金前年ヨリ繰越
地 価 割 税	二七五、三七	二、六八、〇七四	
地 割 税	四二、三〇	四七、六三	本年地価算高四万七千五百七十二円六十九銭地租金千九百九十三円十五銭地租 金千九百九十三円十五銭地租金一円ニ付金三十五銭
営 業 割 税	五、〇〇〇	九、四八六	本年県税中営業税雑種税予算高金四百四十七円五十八銭金一円ニ付金二十二銭
戸 別 割 税	一、九〇、四七四	一、八五、七〇	本年県税戸数割予算高金四百八十七円二十二銭金一円ニ付三円八十二銭三厘一 戸数平均一戸ニ付金五円四十六銭四厘
所 得 税 割 税	一六五、一三	一五、五五	本年所得税予算高金四百五十二円八十七銭金一円ニ付金三十五銭
営 業 税 割 税	一三、二〇〇	一五、七六	本年国税営業税予算高金五百二十二円九十一銭金一円ニ付金二十五銭

歳 出		合 計	
科 目	附 記	前年度 予算額	本年度 予算額
		九七、一六〇	一、〇一八、一六〇
第一款役 場		六〇、〇〇〇	六六、八〇〇
第一項 給 長 給	町長月俸金十四円ツム十二ヶ月分	一六、〇〇〇	一六、〇〇〇
書 記 給	書記同俸金十円五十銭一人金八円五十銭一人金八円一人十二ヶ月	三八、〇〇〇	三三、〇〇〇
収 入 役 給	収入役月俸金九円五十銭一人十二ヶ月分	一四、〇〇〇	一四、〇〇〇
雇 給 料	町税督促其他使用ノタメ臨時雇日給一人一人ニ付金三十銭ツム延人員四十八人分	六、〇〇〇	一六、八〇〇
使 丁 給 料	使丁給料一ヶ月金四円五十銭一人	五、〇〇〇	四、〇〇〇
第二項 雑 費		一五、三〇〇	一七、四〇〇
旅 費	町長其他一ヶ月間出張三十三泊分宿泊料一泊ニ付金四十銭ツム此金十三円二十銭日数九十六日分当一日付金二十五銭ツム此金二十四円二十銭泊ニ付金七十銭ツム此金一円四十銭外ノ地へ出張一回二十銭泊一泊ニ付金七十銭ツム此金一円四十銭	六、三〇〇	六七、四〇〇
実 費 弁 償 料	助役一人区長四人実費弁償料一人ニ付一ヶ年金六円ツム	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇
報 酬 費	助役一人一ヶ年報酬	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇
慰 勞 費		一八、四〇〇	一六、六〇〇
第三項 需 用 品 費	官報一ヶ月金六十銭ツム十二ヶ月分此金七円二十銭新聞紙一ヶ月金三十八銭ツム此金四円五十六銭法令全書代一ヶ年金二円四錢令達集一ヶ月金三十銭ツム十二ヶ月分此金三円六十銭法曹代一ヶ年金二円四錢令達集一ヶ月金三十銭ツム器具修繕費金五円印判其他買入代金二円	元、八四〇	五、八四〇

消	耗	品	106,210	9,440	筆墨料一ヶ月一人金十銭ツム五人十二ヶ月分此金六円石油二斗代金三元二十二
賄	信	運	18,100	18,100	金炭七百五十貫同一目貫ニ付金六銭ツム此金四十五円蠟燭代金一円生麸二升代
通	信	搬	33,600	33,600	宿直賄料一ヶ月年三百六十五日一夜ニ付金四銭ツム此金十四円六十錢夜業賄料延
雜	常	修	11,000	11,000	百賄分一賄ニ付金三錢五厘ツム此金三元五十錢
第四項	時	修	1,500	35,000	郵便稅一ヶ月金一円八十錢ツム十二ヶ月分此金二十一円六十錢運搬費金二円
役	場	修	1,500	30,000	諸帳簿綴其他夫賈
揭	示	修	1,500	5,000	役場修繕費
第二款	會	議	26,000	26,000	揭示場修繕費
議	員	費	24,000	24,000	議員實費弁償料一日一人ニ付金二十錢ツム議會日數十日ニシテ十二人分
雜	費	弁	2,000	3,000	會議ニ要スル諸費
第三款	教	育	1,300,960	1,449,800	
第一項	給	料	1,001,000	1,100,000	
正	教	給	66,000	96,000	尋常科正教員四人平均一人月俸十二円高等科正教員二人平均一人月俸金十六円
補	助	給	96,000	60,000	專科正教員一人月俸金八円十二ヶ月分
使	丁	給	24,000	24,000	使丁給料一ヶ月金二円ツム十二ヶ月分
第二項	雜	費	96,960	96,960	
旅	費	給	2,360	2,360	
獎	勵	費	35,800	35,800	
教	員	基	8,160	9,600	平教員一人白河出張五泊二回日數十人一日金五十錢ツム此金六円宿泊
醫	師	手	7,000	7,500	料十泊分一泊ニ付金八錢組合費校長一人ニ付金十錢ツム此金二円三十錢教育視察トシテ校
當	金	當	7,000	7,500	テ延合人員二十三人一回一人ニ付金十錢ツム此金二円三十錢教育視察トシテ校
					長出張實費日數十回内郡内ハ一日金三十錢ツム五日分比金一円五十錢部外ハ一
					日金五十錢五日分比金二円五十錢
					三三節三回生徒延人員千五十人一人ニ付金一錢二厘ツム此金十二円六十錢優等
					生徒九十人一人ニ付金十二錢ツム此金十四円八十錢春秋運動會一回金六円ツム
					此金十二円
					正教員給料年額九百六十円ニ對スル百分ノ一
					生徒身體檢査ニ付醫師一人雇入手當日數五分一日金一円五十錢ツム

第一項 雜	第六款 警備	第五款 救助	第四款 衛生組合補助	第三項 隔離病舎番人手当	第二項 伝染病予防費	第四款 衛生	第五項 実費弁償料	校舎修繕費	揭示場修繕費	第四項 常時修繕費	雜信運搬費	通運搬費	賄料	消耗費	第三項 需用費	慰勞費	補助費
八、六四〇	二八、六五〇	一五、〇〇〇	八、〇〇〇	三、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	八、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一八、二五〇	九、四〇〇	一八、三〇〇	一五、〇〇〇	一〇、〇〇〇
三、六四〇	四三、六四〇	五〇、〇〇〇	八、〇〇〇	三、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	八、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	三、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	一八、二五〇	八、二五〇	八、二五〇	二五、〇〇〇	五、〇〇〇
	窮民救助ノ資ニ充ツ		衛生組合ヘ補助	隔離病舎番人手当	伝染病予防諸費	痘菌百具一具ニ付金五錢ツ、此金五円医師雇入春秋兩季延入員十人分一日金一円五十錢ツ、此金十五円	学務委員四人分実費弁償料一人ニ付金二円ツ	校舎修繕費其ノ他人夫賃	揭示場修繕費	校舎修繕費其ノ他人夫賃	学校地内掃除其他入夫賃	郵便税一ヶ月金九錢ツ、十二ヶ月分	宿直賄料三百六十五日分一日金五錢ツ	書籍買入代金二十七円器具買入代金十円新聞紙代金四円五十六錢教育雜誌一ヶ年金六十錢生徒机十組新調一組金一円八十錢ツ、此金十八円机腰掛三十個修繕一箇ニ付金五十錢ツ、此金十五円事務机一個金二円雜品買入代金五円	筆墨料職員七人分一人ニ付一ヶ月金五錢ツ、十二ヶ月分此金四円二十錢白墨十三箱ニ付金十五錢ツ、此金一円九十五錢炭九百五十貫同一貫同ニ金六錢ツ、此金五十七円生歟一升代金十錢石油二升代金三元二十二錢朱肉代金一円五十錢諸用紙代金十五円	夏季講習補助トシテ職員ノ内五人分一人ニ付金十円ツ	教員慰勞費

歳入

大正六年度歳入出決算表

大正六年村費歳入出決算

一八四〔大正六年度中畑村歳入出決算〕

歳入出差引金六十二円二十八銭三厘
翌年度越高金六十二円二十八銭三厘
〔町有 明41・8 三神村会議録一抜粋〕

一金四千七百五円十八銭三厘 收入高
一金四千六百六十円三銭 支出高
差引残

金四十五円十五銭三厘

内金二十円基本財産へ編入

金二十五円十五銭三厘翌年度へ繰越

科 目 決 算 説 明					
款 項 種 目	予 算 額	決 算 額	過 不 足		説 明
			過	不 足	
一 財 産 費 収 入	二、一四〇	六、〇〇〇			
一 財 産 収 入	六、〇〇〇	六、〇〇〇			
一 貸 屋 料	六、〇〇〇	六、〇〇〇			
一 救 荒 予 備 金 収 入	一五、一四〇				一五、一四〇
一 予 金 利 子	二、八四〇				二、八四〇
二 債 券 利 子	三、三〇〇				三、三〇〇
二 交 附 金	二〇、二二〇	三七、六〇〇			三、五九〇
一 国 税 徴 収 交 附 金	三四、四七〇	三〇、三〇〇			四、二二〇
二 県 税 徴 収 交 附 金	三四、四七〇	三〇、三〇〇			四、二二〇
一 県 税 徴 収 交 附 金	五、七四〇	二七、三〇〇			六、三〇〇
二 県 税 徴 収 交 附 金	五、七四〇	二七、三〇〇			六、三〇〇
一 伝 染 病 予 防 費 補 助	九三、〇〇〇	六、八〇〇	四、五〇〇		九六、四〇〇

[illegible]

[illegible]

[illegible]

六伝染病予防費		七隔離舎修繕費		八警備費	
需用費	一雜	需用費	一雜	給	一雜
一備品費	三、〇〇〇	一、六〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
二消耗品費	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
三點燈費	三、六〇〇	一〇、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
四賞与費	三、〇〇〇	三、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
二備人料	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
一備品費	二、〇〇〇	二、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
二消耗品費	五、〇〇〇	五、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
三通信運搬費	五〇〇	五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
四雑費	三、〇〇〇	三、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
一隔離舎修繕費	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
二賞与費	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
三退職給与金	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
四傷痍手当	二、〇〇〇	二、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
實業補習学校費賞与費へ一円二十錢流用	五〇〇	五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
予備費ヨリ八十五錢流用	三、六〇〇	三、六〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
小学校消耗費へ三円六十錢流用	七、八〇〇	七、八〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
補習学校ヒ点火費ヨリ三円六十錢同備品費ヨリ一円二十錢流用	四、八〇〇	四、八〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
小学校消耗品へ五円流用	一六、六〇〇	一六、六〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
同上へ一円五錢流用	七、〇〇〇	七、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
小学校消耗費へ二円流用	六、〇〇〇	六、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
同上へ四円流用	九、五〇〇	九、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
同上へ五十錢流用	二、〇〇〇	二、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
同上へ三円流用	四、〇〇〇	四、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
小学校消耗品費へ一円五十錢流用	五〇〇	五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
役場ヒ消耗品費へ四十円警備ヒ被服ヒへ八十七錢流用	四四、四七五	四四、四七五	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
小学校消耗品費へ五円流用	四、九五〇	四、九五〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
同上へ一円流用	五、〇〇〇	五、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
同上へ二円流用	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
同上へ二円流用	二、〇〇〇	二、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇

[illegible]

臨時部

臨時部		科		決算				説明	
款	項	種目	予算	決算	過	不足	説明		
一補助 ヒ	一教育費補助	一青年会補助	八四、三〇〇	七九、三〇〇		五、〇〇〇			
		二教育研究会補助	一、〇〇〇	一、〇〇〇					
合 計			四一、三、〇三六	四一、二四、六五〇		三、三六八			
十四予 備 費	一予 備 費	一予 備 費	三六、二九六	△三六、三三〇					
	二納稅督 励ヒ	一督 励 ヒ	五、〇〇〇	四、二七〇		七〇			
十三納稅改 善ヒ	一納稅改 善費	一奨 励 費	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇		五、〇〇〇	奉安庫建築記念費へ五円流 用		
	三諸 会 費	一諸 会 費	一〇、〇〇〇	八、五〇〇		一、五〇〇	雜支出諸稅負担へ二十五錢 流用		
		二徴兵旅費繰替	一〇、〇〇〇	二五、一八〇	一五、一八〇		予備費ヨリ十五円十八錢流 用		
		一行旅病死人取扱費繰替	一、〇〇〇	二五、一八〇	一四、一八〇	一、〇〇〇	小学校消耗品費へ一円流用		

第5編 近 代 1 政治

[illegible]

〔町有 大7・12・26〕中畑村會議錄〔抜粹〕

大正七年度後期県税戸数割賦課等差及課額表

一金四百五十五兩八十五錢賦課額

[illegible]

計	三〇元六七				
	三〇	一八	一八	一五	一四
	三〇	一〇	一四	一七	二〇
	三〇	一八	二五	二五	二八
	一五	二〇	二五	三〇	三〇
	四五、八五〇	二、七〇〇	三、七〇〇	四、二〇〇	四、二〇〇

〔町有 大7「中畑村会議録」抜粋〕

一八六〔昭和一一年度三神村税課率〕

第六号議案

昭和十一年度村税課率決定之件

地 租 附 加 税	本税一円ニ付金六十六銭
特別地租附加税	賃貸価格総額百分ノ三・一ノ百分ノ八十一 円ニ付二銭四厘八毛
營業収益税附加税	本税一円ニ付金六十六銭
県税家屋税附加税	本税一円ニ付金五十銭
県税營業税附加税	本税一円ニ付金七十銭
県税雜種税附加税	本税一円ニ付金七十銭
特別税戸数割	村税予算総額ノ百分ノ五五・五九一戸平均 金十三円九十八銭七七二

以 上

昭和十一年度村税課率前記之通り賦課徴収スルモノトスル
昭和十一年二月二十九日提出同決議

三神村長 酒 井 寅三郎

〔町有 昭11・2「三神村会議録」抜粋〕

一八七〔昭和一七年度中畑村歳入出決算書〕

報告第三号

昭和十七年度西白河郡中畑村歳入出決算書

歳 入

一金二万六千八百三十五円也	歳入予算高
一金二万七千六百五十七円九十五銭	歳入決算高

歳 出

一金一万九千七百二十一円也	歳出予算高
一金一万八千二百門二十八銭	歳出決算高
一金七千四百四十七円也	臨時部歳出予高
一金六千二百七十八円二十銭	臨時部歳出決算高
一金二万六千八百三十五円也	歳出予算高
一金二万四千二百九十八円四十八銭	歳出決算高
歳入出差引殘金	三千三百五十九円四十七銭
昭和十八年度へ繰越金	三千三百五十九円四十七銭
昭和十九年九月二十一日提出同日議決	

中畑村長 小 針 弥太郎

〔町有 昭19・9「中畑村会議録」抜粋〕

一八八〔昭和一八年度三神村歳入出決算〕

昭和十八年西白河郡三神村歳入歳出決算書

歳入

一金四万六千九百二十三円九十五銭 歳入決算高

一金四万七千四百八十四円也 同 予算高

歳出

一金二万五千五百六十八円三十一銭 經常部決算高

一金二万四千八百七十五円也 同 予算高

一金二万一千二百九十八円三銭 臨時部歳出決算高

一金二万二千六百九十円也 同 予算高

歳入歳出差引現金五十七円六十一銭也

昭和二十年 三神村長 藤井英由

〔町有 昭20・8「三神村会議録」抜粋〕

一八九〔昭和一八年度矢吹町歳入出決算書〕

昭和十八年度福島県西白河郡矢吹町歳入歳出決算

歳入

一金四万三千二百七十七円三十六銭 決算高

一金六万一千四百七十四円也 予算高

歳出

一金三万九千八百五十三円五十三銭 經常部決算高

一金五万二千五百五十四円也 經常部予算高

一金三千三百五十三円八十五銭 臨時部決算高

一金九千三百二十円也 臨時部予算高

歳出合計金四万三千二百七十七円三十八銭 決算高

歳出合計金六万一千四百七十四円也 予算高

歳入歳出差引現金九円九十八銭 町基本財産へ繰入

昭和二十年十一月十三日報告

西白河矢吹町長 仲西三良

〔町有 昭20・11「矢吹町会議録」抜粋〕

一九〇〔昭和二〇年度矢吹町歳入出決算書〕

昭和二十年年度矢吹町歳入歳出決算

歳入

一金十七万九千七百七十五円一銭 決算高

一金十八万九千八百三十七円 予算高

歳出

一金十七万六千三百四十八円三十八銭 決算高

一金十八万九千八百三十七円 予算高

歳入歳出差引現金三千四百七十円六十三銭

内金五十円 町条例ニ依り町基本財産畜積

金三千四百二十円六十三銭 二十一年度一般会計繰越

昭和二十一年七月二十五日報告

西白河郡矢吹町長 大木代吉

〔町有 昭21・7「矢吹町会議録」抜粋〕

一九一〔明治三十七年矢吹町基本財産蓄積条例〕

第九号

福島県西白河郡矢吹町基本財産蓄積条例

第一条 本町ハ本条例ノ規定ニ依リ明治三十七年度ヨリ向ク

二十ヶ年間基本財産ヲ蓄積ス

第二条 町村制第八十一条第二号ニ掲グルモノノ外左ノ収入

ハ基本財産トシテ蓄積ス

一 基本財産ヨリ生スル収入

二 歳計剰余金ノ内五十円但五十円ニ滿タザルトキハ

其全部

三 国税徴収法及県税徴収法ニ依リ収入スル交付金

四 戸籍法ニ依リ収入スル手数料

五 督促手数料条例ニ依リ収入スル手数料

第三条 公債ヲ起シタル場合ニ於テハ当該年度間前条ノ蓄積

ヲ停止ス但特別ノ事情アルトキハ町会ノ議決ヲ以テ

其蓄積ヲ停止セサルコトヲ得 前二項ノ場合ニ於テ

ハ其停止年数ニ応シ第一条ノ蓄積期間ヲ延長ス

第四条 基本財産ノ収支精算ハ毎翌年度ニ於テ之ヲ町会ニ報

告シ町内ニ公告スベシ

第五条 基本財産トシテ蓄積スヘキモノハ総テ予算ニ編入ス
附 則

第六条 本条例ハ発布ノ日ヨリ施行ス

右可決ス

〔町有 明37・3・31「矢吹町会議録」抜粋〕

〔解説〕 町村の財源の第一は基本財産におかれその蓄積は、町村制に定められるところであつた。同様条例が各村にある。

一九二〔明治三十七年矢吹町有財産管理規程〕

第十号

福島県西白河郡矢吹町有財産管理規程

第一章 総 則

第一条 本町有財産ハ本規程ニ依リ之レヲ管理ス但本規程中
別ニ管理方法ヲ規定セザル財産ハ町長ニ於テ適宜管
理スベシ

第二条 本規程中財産ト称スルハ本町基本財産当町立小学校

基本財産其他特別ノ積立金等ニシテ町長ニ於テ管理

スベキモノヲ云フ

第三条 左ノ事項ハ町会ノ議決ヲ經ルヲ要ス

一 現金ヲ一ヶ月以上収入役ニ於テ保管スルコト

二 現金ノ預入及有価証券ノ保護預ヲナス銀行ヲ指定

スルコト

三有価証券買入

第四 条

預金通帳有価証券(若有価証券ヲ保護預トナシタルモノハ其預証書)ハ毎月一回町長ニ於テ收入役立会ノ上検閲スベシ

第二章 現 金

第五 条

現金ハ收入役ヲシテ保管セシメ其額金一円ニ達シタルトキハ郵便貯金又ハ確実ナル銀行ニ預入スベシ但一ヶ月以内ノ保管及特別ノ事由ニ依リ保管スルノ必要アルモノハ此限ニアラズ

第六 条

現金ハ其額金百円ニ達シタルトキハ可成有価証券若シクハ土地ヲ購入スベシ

但シ特別ノ積立金ハ此限リニアラズ

第七 条

現金ハ本町ニ於テ起債ノ必要アルトキハ歳計ニ運用スルコトヲ得但此場合ニ於テハ一ヶ年五分ノ利子ニ相当スル額ヲ増シ戻入スベシ

第八 条

現金ハ他都市町村其他公共団体ニ貸付スルコトヲ得此場合ニ於テ利子年五分以上トス

第九 条

現金ヲ個人ニ貸付又ハ預入スルトキハ確実ナル担保ヲ徴スベシ且エ利子ハ年五分以上トス

前項ノ担保ハ政府并ニ地方発行ノ公債証書又ハ確実ト認ムル銀行会社ノ株券若シクハ土地建物トシ貸付

歩合ハ担保品ノ時価七分以内トス土地建物ノ担保ハ

第一抵当タルヲ要ス

第三章 有価証券

第十 条

有価証券ノ政府発行ノ公債証書又ハ確実ト認ムル銀行会社ノ株券ヲ購入スベシ

第十一 条

有価証券ハ確実ナル銀行ニ保護預ケト為シ其預証券ヲ保管スベシ

附 則

第十二 条

本規程ハ明治三十七年四月一日ヨリ施行ス

第十三 条

明治三十一年三月二十九日決議矢吹町小学校基本財産管理法ハ本規程施行ノ日ヨリ之ヲ廃止ス

右可決ス

〔町有 明37・3・31「矢吹町會議録」抜粋〕

一九三「大正五年七月矢吹町基本財産林管理規程」

西白河郡矢吹町基本財産林管理規程

第一 条

此規程ニ於テ町有財産林ト称スルハ町基本財産ノ造成ヲ計リ經理模範ヲ示ス為メ町ニ於テ經營スル林地ヲ示ス

第二 条

町有財産林ハ町長之レヲ管理ス

町有財産林ハ台帳ヲ製シ其所在及反別其他必要ノ事

項記入スルヲ要ス

第三 条

町有財産林実地ノ保護ハ本町及附近町村又ハ区（大字其ノ他ノ部落ヲ含ム以下同ジ）若シクハ各種団体ニ委託ス

委託保護者ニハ其報酬トシテ大正 年以後樹木売却都度其収入ノ十分一ヲ売却后六十日以内ニ交付スルモノトス

第四 条

委託保護者ニ於テ懈怠ノ為メ損害ヲ生シタルトキハ報酬額ヲ減シ又ハ之レヲ交付セザルコトアルベク且ツ損害賠償ヲ請求スルモノトス

第五 条

町有財産林ノ立木ノ売却及土地貸付ハ競争入札以テ之レヲ行フモノトス但シ左ノ場合ニ於テハ随意契約ヲ為スコトヲ得

一 直接公用ニ供スル為メ町村公共団体等へ売却交付又ハ貸付トキ

二 予定価格五十円未満ノ立木ヲ売却シ又ハ土地ヲ貸付スルトキ

三 競争入札ニ付スルモ入札者ナキ又ハ再入札ニ附スルモ尚予定価格ニ達セザルトキ

四 前各項ノ外競争ニ附セザルヲ必要ト認ムルトキ

第六 条 町有財産林副産物ハ受託保護者ニ無償交付スルコト

アルベシ

第七 条

売却物件並貸地ノ引渡ハ代金完納后ニ於テ為スベキモノトス

第八 条

町有財産林内部分林設定ノ目的ヲ以テ土地ノ貸付ヲ為ストキハ貸付料ヲ徴セズ収益分収ノ方法ニ依リ樹木売却ノ都度其収入ノ百分ノ七十ヲ其設定者交付スルモノトス

第九 条

土地貸付期間中返還セシメタトキ契約解除ノ日ヲ限界トシ既納料金ハ日割ヲ以テ還付ス但シ借地人ノ不行為ニ基因スル場合ハ此限りニアラズ

第十 条

町ノ都合ニ依リ第八条ノ部分林設定ヲ解約スルコトアルトキハ左各項ニ依リ処分スルモノトス

一 設定后十年以内ナルトキハ毎年栽植シタル樹種ノ評価ヲ付シ設定者ト協議ノ上処分スベシ

第十一 条

二 設定后十年以上ナルトキハ第八条ニ依リ処分スベシ
町有財産林ノ借入人ハ特ニ町長ノ許可ヲ得ルニ非ザレバ当初貸付ノ目的外ニ使用シ又ハ他人ニ転貸スルコトヲ得ズ

借地人前項ノ規定ニ違背シタル貸付期間ノ如何ニ拘ラズ之レヲ返還セシメ尚之レガ為メニ生シタル損害アルトキハ之レヲ賠償セシムルモノトス

第十二条 町有財産林借地人ニ於テ町長ノ許可ヲ得テ原形ヲ変

更シタルトキハ期間満了ニ至リ之レヲ原形ニ復シ返

還セシムベシ

但シ特ニ許可ヲ得タルモノハ此限リニ非ズ

第十三条 前各項ノ外管理上特ニ必要ナル事項ハ町会ノ決議ヲ

経テ之レヲ定ム

請 書

西白河郡矢吹町大字何字何地内町有財産林

一実測反別 何町何反歩

右ハ今般実地保護ノ義当何々(区部落
国体名)ニ御委託相成候ニ付テハ西

白河郡矢吹町基本財産林管理規程並ニ左記ノ条項ヲ承諾シ誠実ニ

保護ノ実ヲ盡シ可申依テ請書差出候也

年 月 日

区部落団体名

職 氏 名[㊤]

記

一保護期間ハ大正 年ヨリ大正 年迄何ケ年間トス

二保護区域内ニ於ケル盜伐火災予防等ノ為メ山守 名ヲ常置シ迭

視セシメ万一災害ノ実視ニ際シテハ区住民(部落住民又ハ団体

員)挙テ鎮庄ニ従事シ一面御庁へ速報致可ク候

三保護区域内又ハ其附近ニ於テ虫害風雪其他気象上ノ被害ニ注意

シ之レヲ発見タルトキハ直ニ御庁へ報告致可候

四第二項ニ依リ山守ヲ常置スルノ時保護区域内ノ各自受持区域ヲ

更ニ区分シ誓テ保護ノ責ニ任セシムベク且ツ其区域別ヲ御庁ニ

届出デ異動ノ都度届出申可候

五保護区域内ノ副産物ハ無償ニテ交付ヲ受ケベント雖モ入林期間

ハ御庁ノ御指定ニ従ヒ可申候

六御庁ノ都合ニ依リ前項物品ノ採所ヲ附近住民へ許可セラルゝ場

合ハ其人名ヲ御通知ヲ受クベク之レニ対シ故障等申聞敷候

七前各項ノ外御庁並ニ出張係員ノ御命令ハ堅ク遵守可致候

以上

[町有 大5・7「矢吹町会議録」抜粋]

一九四〔昭和九年矢吹町小学校營繕費積立金蓄積条例〕

議案第十四号

一矢吹町小学校營繕費積立金蓄積条例設定ノ件

本町小学校營繕費積立金蓄積条例ヲ別紙ノ通り設定スルモノトス

昭和九年二月二十七日提出

矢吹町長 仲 西 三 郎

理由

本町小学校児童數ハ年毎ニ増加シ現ニ講堂ノ如キ狹隘ノ告ゲ居ル
状態ニテ數年ヲ出ズレバ講堂并ニ校舍ノ増改築ノ必要ヲ生ズルニ
至ルベシ依テ之カ費用ニ充當センカ為メ毎年度予算ヲ以テ相當金

額積立置クモノトス

小学校營繕費積立金蓄積条例

第一 条 木町ハ小学校營繕費ニ充当スル為メ之カ資金ヲ蓄積スルモノトス

第二 条 營繕資金ニ蓄積スヘキ金額ハ毎年度予算ヲ以テ之ヲ定ム

第三 条 營繕資金ハ最モ確實ナリト認ムル方法ニ依リ利殖ヲ図ルモノトス

第四 条 本条例ニ拠リ蓄積スル營繕資金ハ特別會計トス

附 則

第五 条 本条例ハ昭和九年度ヨリ施行ス

〔町有 昭9・2「矢吹町會議錄」抜粹〕

一九五〔大正四年矢吹町納稅組合獎勵規程〕

第八号議案

一矢吹町納稅組合獎勵規程設定ノ件

矢吹町納稅組合獎勵規程

第一 条 本町内住民ニシテ納稅義務ヲ全フセンガタメ納稅組合ヲ組織シタルトキハ町ハ此ノ規程ニ依リ組合及組長ニ對シ獎勵ヲナスモノトス

第二 条 設置セントスル組合ハ組合十戸以上トシ組合規約ヲ定メ組合員連合署ノ上町長ニ届出認可ヲ受クベシ組合規約ヲ変更シタルトキ亦同シ

第三 条 前条ニ依リ設置シタル組合ニシテ其組合所定ノ規約ヲ遵守シ一會計年度内納稅ノ成績優良ナルモノニ對シ町長其成績ヲ審査シ獎勵金品又ハ賞狀ヲ賞与ス

第四 条 組合員ニ異動ヲ生シタルトキ組合長ハ其都度町長ニ届出ベシ

第五 条 賞与ヲ受ケン組合ハ其金品ヲ処分セントスルトキハ予メ町長ノ認可ヲ受クベシ 若シ認可ヲ得シテ処分シタルトキハ返還ヲ命ズルコトアルベシ

附 則

第六 条 本規程ハ大正四年度ヨリ施行ス

理由現今町財政滯納者多數ノ為メ大ニ困難ヲ感シ此ノ弊風ヲ改善スル納稅組合ノ設置ハ最急務ト信ズ現時四五ノ組合設置シザルモ之レヲ全町ニ普及設置ヲ促サントス依テ本案ヲ設定シ勸誘ヲ努メントス

右提出ス

大正四年二月二十八日

矢吹町長 武 藤 一 策

納税組合規約

第一条 本組合ハ平素貯金ノ方法ニヨリ納税ノ義務ヲ全フス

ルヲ以テ目的トス

第二条 本組合ハ矢吹町長ノ監督ヲ受ケ組合内ノ納税義務者

ヲ以テ組織ス

第三条 本組合ハ矢吹町大字何何納税組合ト称ス

第四条 組合内ニ住スル納税義務者ハ本組合ニ加入スル義務

ヲ有ス

第五条 本組合ニ組長一名幹事 名ヲ置キ組合員中ヨリ選挙

ス

第六条 組長ハ組合一切事務ヲ総理シ貯金ノ督励及管理納税

ノ代弁其他善行ノ奨励悪習ノ訓戒等努メ幹事ハ組長

ヲ補佐シ其協議ニ参与ス 組長及幹事ハ名誉職トス

但シ組合ノ決議ニ依リ報酬ヲ与フルコト得

第七条 組長ハ幹事ト協議ノ上組合員ノ一會計年度間ニ於ケ

ル納税額ヲ標準トシ各組合員ノ貯金額ヲ予定シ之レ

ヲ組合員ニ通告シ組合員其通告金額以上ヲ目的トシ

貯金ヲ為スベシ

前項貯金額ニシテ最初ノ納期ニ於テ納税額ニ達セザ

ルトキハ其期間倍額若シクハ幾分ノ蓄積ヲナスベシ

第八条 新ニ本組合ニ転入シタル者アルトキハ組合長又ハ幹

事ハ本規約ノ旨趣ヲ説明シ加入セシムベシ若シ加入

セザル者アルトキハ町長ニ申報スベシ

第九条 組長ハ其組合員ノ氏名及貯金額ヲ町長ニ届出ツベシ

異動ノ生シタルトキ亦同シ

第十条 貯金ハ日掛（月掛トス）

日掛ハ組合員ニ於テ日々順番ニ取纏メ其集金ハ其

中ニ組長（町収入役郵便局銀行等組合ニ於テ適宜定

ム）ニ払込ムベシ（月掛ハ組合員ニ於テ毎月 日迄

組長ニ払込ムベシ）

第十一条 組長ニ於テ納税令書ノ交付ヲ受ケタルトキハ之レヲ

代納シ受預証ヲ保存スベシ組合員各自ノ貯金額不足

ニシテ代納スルニ定ラザルトキハ其時々不定額ヲ徴

収若クハ貯金ヲ増加セシムベシ

第十二条 組長ハ貯金受払張ヲ各人別シ調製シ置キ其収支ヲ明

ニスベシ

第十三条 組長ハ毎年 月ヲ以テ精算ヲ遂ケ剰余金ハ納税額収

証ト共ニ組合員ニ返付スヘシ但シ組合ノ請求ニヨリ

継続保管スルコトヲ得

貯金ノ収支精算ハ町長ニ報告シ且ツ組合員ニ通告ス

ベシ

第十四条 組合員他町村転任スルモノアルトキハ已ニ納税義務

ノ生シタル納税金ハ完納シ剰余金ハ之レヲ返付シ若シ不足ナルトキハ追徴ス

本町内他ノ組合ニ転属スルモノアル時ハ貯金ノ精算ヲ為シ転居所属ノ組長ニ貯金受払帳ニ現金ヲ添エ其事務ヲ引継クベシ

第十五条 貯金ハ納税ニ差支ナキ限り郵便貯金又ハ銀行当座預金ト為スコトヲ得

第十六条 貯金ヨリ生ズル利子若シクハ寄附等組合雑収ハ総組合員ノ決議ヲ以テ町長ノ認可ヲ受ケ処分スルコトヲ得

第十七条 本規約組合員三分ノ二以上ノ協議ニ依ルニアラザレバ更生スルコトヲ得ズ

附則

第十八条 本規約大正 年 月 日ヨリ実施

右遵守可改依テ左ニ署名捺印ス

何 某[㊦]

以下連署

〔町有 大4・2「矢吹町会議録」抜粋〕

解説 納税の完納には、毎年大きな力をはらい、滞納整理が大きな仕事だった、納税奨励の規程は各村で作成している。個人奨励と組合奨励があり、本資料は納税組合を半強制的につくら

せ、成績を審査し奨励金品又は賞状をおくるといふもので、資料一九七のような税額による還付制度ではない。

一九六〔昭和一二年三神村出征并ニ応召軍人ニ対スル村税并ニ

使用料減免ニ関スル議決〕

第四十号議案

出征并ニ応召軍人ニ対スル村税并ニ使用料減免ニ関スル件
出征并ニ応召軍人ニ対スル村税并ニ使用料ヲ左記規程ニ依リ減免セントス

記

出征并ニ応召軍人ニ対スル村税并ニ使用減免ニ関スル規程
一 使用料ハ出征及応召ノ日ヨリ起算シ其家族ニ対シ之ヲ免除ス
一村税

一 出征又ハ応召者ノ家族ニシテ左ノ事項ニ該当シタルモノハ応召期后各種村税ヲ免除ス 軍事救護者

二 前項以外ノ出征又ハ応召者ニハ左ノ規程ニ依ル

イ 特別税戸数割平均等以上ノモノハ之ヲ免除セズ

ロ 特別税戸数割年額金二円平均等以下ニ対シテハ其賦課額ノ三割

割

ハ 特別税戸数割年額二円以下ニ対シテハ之テ全免ス

以上

昭和十二年十二月十五日提出

三神村長 酒井 寅三郎

昭和十二年十二月十五日決議

〔町有 昭12・「15三神村会議録」抜粋〕

〔解説〕戦時体制下の税制の一端を示すもので村税と使用料の減免措置が講じられ出征軍人家族の保護対策がなされている。

一九七〔昭和一五年中畑村納税奨励規程〕

中畑村納税奨励規程

第一 条 本村ハ納税滞納ノ弊ヲ矯正シ其ノ成績ヲ優良ナラシムルタメ本規程ニヨリ之ヲ奨励ス

第二 条 本村在住ノ納税義務者ヲシテ納税組合ヲ組織シ一ケ年ヲ通シ各期限内ニ完納シタル組合ニ対シ奨励金ヲ

交付ス

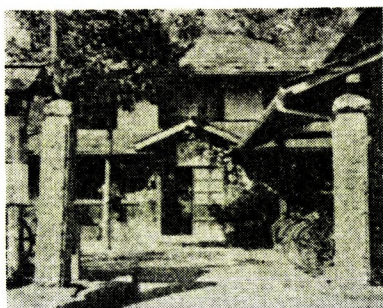
第三 条 納税組合ハ農業実行組合ノ全員ヲ以テ組織スルコトヲ要ス

第四 条 奨励金ハ完納組合ノ組合員ノ納付シタル村税額ノ一割五分トス

附 則

本規則ハ昭和十五年度ヨリ施行シ従前ノ規程ハ之ヲ廃止ス

〔町有 昭16・3「中畑村会議録」抜粋〕



(右上) 矢吹町役場
(左上) 三神村役場
(下) 中畑村役場